

どうぶつこうえんニュース

Chiba Zoological Park News

No.24



どうぶつと私… (19)

Animals and I

動物から教えられたこと

時田賢一

我孫子市鳥の博物館主任学芸員



小学生の頃から虫好きの少年だった私は、授業が終わるのを今か今かと待ち望むのが日課でした。それは、まだまだ自然の残っていた都心の小学校の裏庭で、放課後という楽しい虫探しの時間が待っていたからでした。

石の下にはゴミムシやオサムシ、カラタチの茂みにはアゲハチョウやクロアゲハの幼虫が見つかり、時には小さなヘビさえ見つけることができました。明けても暮れても虫虫虫の毎日、愛読書も昆虫図鑑、さすがに中学生の頃になると両親が心配しだしましたが、そんな両親の心配をよそに行動範囲も広がり、中部地方の山々を駆けめぐるようになっていました。毎週のように出かけた山から採集した昆虫が標本箱を埋めていきました。高校生になる頃にはもう一端の虫屋（昆虫採集ばかりやっている人の俗称）になり、将来、動物で仕事ができる人生を送れたらなと確か考えたように記憶しています。

高校の生物部時代から続けてきた昆虫や植物の観察で通い慣れた山で、思いも掛けない出来事がありました。それは、何度となく登り、知りつくした山で、偶然にもカモシカに遭遇してしまったのです。その時の驚きは今でも忘れることはありません。内心、驚きというより「今まで一体、何を見聞きしてきたのだろうか」という失望感でいっぱいでした。まだ、カモシカは「幻の動物」などと呼ばれカモシカを扱った書籍も少なかった時代ですからカモシカについての知識など何もありません。でも、とにかく「カモシカを調べてみよう」と考えたのでした。

調べてみようと考えてから、実際にカモシカをどんな時でも出会えるようになったのが約三年、子どものカモシカに至近距離で近づけるようになったのは、はじめてカモシカに出会ってから五年が経過していました。最初は何もわかりませんから、当時指導を受けていた池田真次郎先生が「それはオスだったかメスだったか」の質問に、「角があったからオスです」と答えて、先生からカモシカはウシ科、オスもメスも角があるんだと哺乳類の専門書を読みなさいと渡されたのも二十数年前の話になってしまいました。

それまで何気なく見過ごしてきた山肌に付いた一筋が、カモシカ道などの獣道だったり、山道で今まで気づかなかった黒い塊がカモシカの「ため糞」だったり、意識しないと見えてこないものがあるにも多いことに気がつきました。自然には、見えている自然と見えてこない自然があり、見えてこない自然は意識して見ないと見えてこないのだと動物から教えられました。

それにしても、野山にこどもの姿がなく、見えている自然も見ようとしなない世代、世の中もっとおおらかにありたいものです。

目次

表紙 イヌワシ	1
どうぶつと私⑱	2
グラビア アカハナグマ	3
特集 「種の保存会議」	4
子ども動物園へようこそ	6
動物公園の動物⑱	7
動物公園の植物⑨	7
動物公園日誌から	8
飼育よもやま話	10
健康管理センターから 平成8年度 後期行事予定表	11

表紙の動物説明

イヌワシ

イヌワシはワシやタカの仲間では大型で、翼を広げると2mにもなります。

世界の広い範囲の山岳地帯に生息し、いくつかの亜種に分けられますが、日本のイヌワシは最も小型の亜種で生息数も少なく、国の「天然記念物」に指定されています。

主としてウサギやキジの仲間を捕らえて食べますが、日本のイヌワシはヘビも多く食べているようです。

撮影・宮川 千尋

動物飼育数

哺乳類	66種	425点
鳥 類	87種	364点
爬虫類	4種	20点
両生類	1種	1点
魚 類	2種	6点
総 計	160種	816点
平成8年 8月末現在		

アカハナグマ coati

食肉目 アライグマ科



アンデスの東部、アルゼンチン、パラグアイ、ウルグアイなどの森林地帯に住み、木登りが大変うまく長い尾は樹上でバランスをとるのに使います。

雑食性で果実、小動物（小さな哺乳類、爬虫類、昆虫）などを食べ、樹上に巣を作って2～7頭の子を生みます。成熟した雄は単独で生活し、雌と子は20頭ぐらいの群れで生活しています。

（秦 舜二 Shunji Hata）

種 保 存 会 議

野生動物を守る種保存会議

地球上から一日一種の割合で動物が消滅し、毎分20ヘクタールの熱帯雨林がなくなりつつあるとされる今日、このままでいけば、現在動物園で飼育展示されている動物達の多くは、21世紀前半で動物園以外から消滅してしまうのではないかとされています。

そのような状況のもとで、動物園や地球上から貴重な動物達を消滅させないためにも、世界中の動物園がお互いに手を結び、動物園の中での長期的な繁殖計画を作り、種の維持を独自に考えなければならなくなってきました。

世界の動物園の関心はこのあたりに集中しており、動物園の展示動物を野生から導入しないという消極的な保護から、むしろ現在動物園が保有している動物を、いかに計画的に増やし、野生に戻すかと言う積極的な方向に転換しつつあるのです。

わが国の動物園ではこれに対してどのように対応しているのでしょうか？

種保存委員会の発足

動物園・水族館の団体である（社）日本動物園水族館協会（以下日動水）では、運営委員会の一つである自然保護部によって希少動物の飼育状況調査、増殖に関する資料の収集、血統登録、ブリーディング・ローン（繁殖のための動物の貸借）などの事業を推進してきましたが、世界の流れと日動水の倫理要項を受けて新たに1988年2月29日の理事会において理事会の補助機関として「種保存委員会」を発足させました。

この委員会は、組織的に保護増殖の必要のある希少動物を、その種の遺伝的多様性を保ちながら、飼育下で自立出来る繁殖グループを作り維持するための調整機関です。会の構成メンバーは日動水協会長を委員長とし、各ブロック（北海道、関東・東北、中部、近畿、中・四国、九州・沖縄）選出委員、運営委員会自然保護部員および学識経験者から構成されています。

発足した種保存委員会（SSCJ）は先輩であるアメリカの種の保存計画（SSP）を参考に、次のことを設定しました。

- * 保存すべき優先種の選定基準を設けて決める。
- * 繁殖計画調整者（コーディネーター）の選出。
- * 繁殖検討グループの選出。メンバーは若干名とし、任期は2年とし留任は妨げない。
- * 繁殖計画に参画する園館の決定。
- * 繁殖計画の決定と実施、オーナーシップを配慮し、ISISの応用も検討する。
- * 繁殖計画の実施後、必要が生じた場合は記録と報告によって再検討する。

この基準にもとづいて委員会の傘下に類別会議、種別会議が

設けられ、さらに繁殖検討委員会が指定された種ごとに設置されました。

まず類別会議、これは種保存委員会の開催案により、該当する登録園館で構成する類別会議を開催し、種ごとの繁殖計画を策定します。招集は委員長が行います。つぎに種別会議があります。種保存委員会もしくは類別会議により、必要があるとき委員長が招集します。この会議の構成は、その種の保存に関係する、または関係しようとしている会員園館と登録担当園および種保存委員会の代表です。

尚、第一回会議で決定した優先種は霊長類（有袋類を含む）6種、食肉類4種、有蹄類7種、海獣類6種、鳥類9種、魚類1種の33種でした。現在（1996年）では109種となっています。第3回からより広く参画していただくため、種保存委員会拡大会議としました。本会議は毎年開催され、開催地は会員園館で持ち回りとなっており、種保存委員会が推進した種保存事業の業績を発表公開し、情報の交換を目的としています。また、広く一般にこの事業の重要性をPRするために種保存委員会と合同で開催します。この会議はオープンで会員外の参加も認められています。また、名称が第八回（1995）より種保存会議と変更されました。

会議の開催

1988年2月29日の日動水協理事会で発足した種保存委員会はその後、第一回（1988年10月18日）と第二回（1989年7月18日）は上野動物園で開催され、参加者も委員・関係者で構成された少数でした。第三回（1990年10月4・5日）は名古屋の東山動物園で開催されました。この時から名称も種保存会議拡大会議となり、関係者以外の参加が可能となり、参加者は一挙に123名に増えました。それだけ関心のある方が多かったのでしょうか。第四回は神戸の王子動物園で開催されました。この回から総裁の秋篠宮殿下もご出席になられるようになりました。その後、第五回横浜（野毛山動物園）、第六回大阪（天王寺動物園）、第七回埼玉（埼玉こども自然動物園）、昨年は和歌山（アドベンチャーワールド）でそれぞれ開催され、参加者も200名を超えるようになってきました。今年は当動物公園が当番で千葉市で開催することになっております。



委員会の活動

本会議も昨年で8才になり、この間にいろいろな活動が成されてきました。

まず、優先種に指定された種の個体管理を始め、個体の血統を洗い直し、整理し、登録台帳を作りました。次に動物を移動するときは登録担当者の了解を得なければ動かせないことにしました。これは近交劣化が起こらないようにするためです。また、個体数の少ない種の場合はすでに近交劣化の始まっているものもあり、外国からの導入を実施している種もあります。なにはともあれこの会議が始まってから飼育係が自分の担当している動物の血統を気にするようになったのは前進だと思います。ある学識経験者の発言で若い層に混乱を招いた事もありましたが、これも過渡期の一つの現象でしょう。

次に動物のブリーディングローンが盛んになってきたことで、大型動物では安佐動物公園で繁殖したクロサイが東山動物園（名古屋）や天王寺動物園（大阪）へ送られ、天王寺動物園では繁殖に成功しております。ゴリラ繁殖検討委員会ではすべてのゴリラに繁殖の機会を与えようとの目標で、上野動物園でゴリラの展示施設を改修したのを機会に一頭だけで飼育されているゴリラを集め群れを作りました。また、本園に天王寺動物園のゴリラが来たのもこのプロジェクトの一環です。そのほかには京都動物園に王子動物園のめすゴリラが移動され繁殖が期待されています。最も活発に活動しているのはシオザル繁殖検討委員会で、登録担当者が国内はもとより、国際会議にも出席し、国外からも新しい系統を導入しており、順調に計画が進みつつあります。鳥類ではペットとして飼われる事の多かったオオバタンが野生での絶滅が心配されており、優先種に指定され、埼玉こども動物園が登録担当をすることとなり、全国で羽で飼育されているものを集めペアを作り、繁殖に成功しております。本園ではホオカザリヅルの担当をしており、天王寺動物園や上野動物園などから集め、よい繁殖ペアづくりを続けております。ちなみに、本園はホウカザリヅル、希少マーモセット類、ホトなどの登録を担当しております。全国で多くの種で登録担当者の努力が続けられており、近い将来累代繁殖に成功する事でしょう。

国際的な動向

種の保存は、遺伝的多様性を保たなければなりませんので、できるだけ血統の違う個体をさまざまな組み合わせで繁殖させなければなりません。これは一部の動物園だけで長期繁殖計画を立てる事は不可能で、国際的な協力が欠かせません。国外では早くから組織化されており、国際自然保護連合（IUCN）の下部組織として種保存委員会（SSC）や、国際動物園長連盟（IUDZG）の下部組織として保全繁殖専門家集団（CBSG）が設置されています。

この計画を進めるにあたってまずしなければならないことは、世界中の動物園や水族館で飼育されている動物のデータ（種・頭数・状態）を把握しなければなりません。希少動物に関しては国際登録制度もすでに動いており、そのデータはロンドン動物学協会に集積されています。これらをさらに機能アップさせるためにアメリカのミネソタ大学に国際飼育動物データベース

繁殖計画検討種一覧（1996）

1. コアラ3亜種（東山・鹿島）	48. ヒガシクロサイ（安佐・大津）
2. オオアリクイ（日本平・八木）	49. ミナミクロサイ（八木山・赤間）
3. ニンローランドゴリラ（上野・安部）	50. インドサイ（横浜金沢・竹内）
4. オランウータン2亜種（東山・渡辺）	51. マレーバク（福岡・浜地）
5. チンパンジー（多摩・吉原）	52. ブラジルバク
6. コンカリーテナガザル（と八・宮内）	53. チュロベイバク
7. ワウワウテナガザル	54. クレービーシマウマ（京都・安井）
8. ホウシテナガザル	55. ハートマンヤシマウマ（川崎・藤本）
9. シンオザル（天王寺・宮内）	56. アジアゾウ（上野・川口）
10. フランソワルトン（浜松・中沢）	57. ニホンカモシカ（東山・川村）
11. マントリル（豊橋・武田）	58. シロオリックス（盛岡・辻本）
12. タイアサモンキー（大森山・小松）	59. コンドル（徳島・日川）
13. トリル（天王寺・高橋）	60. オシロウシ（部広・宮）
14. クロキツネザル（モンキー・小寺）	61. オオウシ（岡山・北村）
15. ハイイロキツネザルミキツネザル	62. ニホンイヌウシ（八木山・武智）
16. チャイロキツネザル2亜種	63. エゾシマフクロウ（釧路・志村）
17. ホト（千葉・牧野）	64. カラフトワシミスク（旭川・小宮）
18. ヒグママーモセット（千葉・宗近）	65. クマタカ（豊橋・武田）
19. エンペラタマリン	66. フンホルトベンギン（葛西・福田）
20. ワタハウシタマリン	67. ケフベンギン（サンシャイン・鈴木）
21. ライオンタマリン	68. マゼランベンギン（須磨・津崎）
22. ケルジーンモンキー	69. イワトビベンギン（油壺・山田）
23. メガネグマ（旭川・小宮）	70. センツウベンギン（名古屋港・栗田）
24. メガネグマ（天王寺・高橋）	71. オオサマベンギン（南紀・中江）
25. ナマケグマ	72. ニホンコウモリ（多摩・細田）
26. マレーグマ	73. ホオアカトキ（上野・小宮）
27. コデリア・クグマ	74. タンチョウ（上野・小宮）
28. シャイアントパンダ（上野・田邊）	75. マナブル（埼玉・日橋）
29. トラ3亜種（王子・安田）	76. ナベヅル（平川・小宮）
30. ヒョウ3亜種（旭川・坂東）	77. ホオカザリヅル（千葉・小林）
31. ユキヒョウ（岡山・西根）	78. スデコゾル（多摩・小島）
32. チーター（南紀・林）	79. ハコモヅル（安佐・茶村）
33. レッサーパンダ（日本平・金沢）	80. オオバタン（埼玉・高木）
34. シンレッサーパンダ	81. シロヒタメジロオム
35. カナダカワウソ（のいち・瀬田）	82. タイバクオム
36. ユーラシアカワウソ	83. アカコンゴウインコ（埼玉・日橋）
37. ヒロートカワウソ	84. ミミコンゴウインコ
38. コツメカワウソ	85. ヒワコンゴウインコ
39. ツメナシカワウソ	86. ミトリコンゴウインコ
40. ウッコ（鳥羽・吉田）	87. カムリハト（熊本・岡元）
41. オタリア（油壺・磯貝）	88. ムネアカカムリハト
42. カリフォルニアアンカ	89. オオギバト
43. トー（小樽・日登）	90. オオサイチョウ（と八・上野）
44. コマファサラシ（江ノ島・藤本）	91. その他のサイチョウ
45. セニカタサラシ（釧路・自吉）	92. カムリシロムク（野山・白石）
46. バンドウイルカ（豊川・前田）	93. オオサンショウウオ（安佐・森本）
47. スナメリ（宮島・岡村）	94. ミヤコタナゴ（琵琶湖・前畑）
	95. ハリヨ
	96. ニホンバラタナゴ
	97. タイセンハラ
	98. スイゲンバラタナゴ
	99. ヒナモロコ
	100. ウシモロコ
	101. アユモトキ
	102. ネコギキ
	103. ムサシトミ
	104. セニタナゴ
	105. タナコモトキ
	106. シナイモトキ
	107. アシアアラワナ（須磨・房友）
	108. ヒラルク（大洗・沼田）
	109. オーストラリアハイキ（須磨・房友）

No.のあとの動物名は種別調整種、（ ）内は、施設名・担当者

センター（ISIS）がもうけられ、世界中の動物の血統データをおなじソフトで処理し、ホストコンピュータに集積し、利用するシステムが開発実施されています。すでにわが国でも加盟して利用している所もあり、今後多くの施設の加盟が期待されています。千葉市動物公園もこのシステムに加盟し、国際化を進める必要があるようです。より効率よく実施するため地域ごとにグループが作られています。例えば、ヨーロッパ（EEP）、アメリカ（SSP）そして日本（SSCJ）などがそれぞれ、まずこの組織内での精度の高い動物の血統管理が行われ、つぎにブリーディングローンによって遺伝的に好ましい組み合わせが作られています。

すでにブリーディングローンも国際的に行われるようになり、シオザルの血統登録者の努力で、アメリカからシオザルの新しい系統が輸入され、日本の繁殖群の充実が計られたのは良い例でしょう。

みなさんがなにげなく見ている動物園の見えないところで、動物達を守るためのいろいろな努力がなされているのです。

日本の動物園からゴリラが消えないように

- * 日本動物園水族館協会：1996年現在、動物園96、水族館65が加盟。
- * 倫理要項：21世紀にむけて、動物園水族館が果たすべき義務と責任を示したもので、野生（希少）動物の保護増殖・生命尊重の生涯学習・動物の福祉優先の飼育技術の確立等を目標とする。
- * SSCJ：Species Survival Committee of Japan.
- * SSP：種の保存計画 Species Survival Plan.
- * オーナ・シニア・所有者
- * ISIS：International Species Inventory System.
- * 近交劣化：近親交配により動物の生存能力、適応能力などが劣化する現象。
- * IUCN：International Union of Conservation of Nature and Resources.
- * SSC：Species Survival Committee.
- * IUDZG：International Union of Directors of Zoological Gardens.
- * CBSG：Conservation Breeding Specialist Group.
- * EEP：Europaischen Erhaltungszucht Programme（ドイツ語）

子ども動物園へようこそ

子ども動物園では、独自に子ども動物園だよりを発行していましたが、今年よりこの紙面をかりて、より多くの読者に利用していただくために、当動物公園・子ども動物園における情報を提供することとなりました。

「子ども動物園」という子ども向けの施設が動物園の中に誕生するようになったのは、日本では上野動物が最初で今からさかのぼること50年になります。小さくよく慣れた動物たちの中に子供たちが入って、動物を観察したり直接触れる場所の提供をおこなっています。そのためには動物たちを十分に慣らしておくことや、子どもをよく理解した指導者等の配置が要求されてきます。子供たちの直接的な体験、発見そして喜び。動物たちへの深い理解と愛情を今後も、うえつけてゆきたいと考えています。千葉市動物公園の一角にはたいへんおとなしいさまざまな動物たちを見ることができます。動物と接することでうまれるいたわりの気持ち、ばかりでなく学童期からの自然教育活動にも積極的に取り組んでゆきたいと思っています。

子ども動物園をよりよく知っていただくために、その主な活動内容を紹介します。

◎小動物コーナー

モルモット、ウサギなどを抱いたりすることができます。常時、職員が立ち会いますので安心して利用することができます。

活動時間 10時～12時 13時～15時30分
(水曜日 午前中は休み)

◎コンタクトエリア

ヤギ、ヒツジなどやや大きい動物に触れることができます。

活動時間 開園時間 随時

◎子ども牧場

ウシ、ウマ、ロバ、ブタなど大型の動物を柵越にさわることができます。

活動時間 開園時間 随時

団体で利用される方へ(団体指導・生活科指導)

幼児・小学校低学年での団体利用では動物との接し方など、指導員のもと、より正しい理解をしていただくために、事前予約をしていただき、内容等についてお手伝いをいたします。

活動時間 幼児団体 10時～11時、 小学校団体 13時～14時
(障害児については随時実施しております)

(牧野 辰男 Tatuo Makino)

動物の飼育について(ウサギ編)

—子ども動物園でみられる動物の飼育方法について—

古くからウサギは、毛皮や肉を取るために飼われてきた動物です。飼育されているいろいろな種類のウサギは、カイウサギの一種類です。カイウサギは、ヨーロッパ原産の「アナウサギ」を家畜化したものです。なじみ深い白い毛に赤い目のウサギは、白色日本種と呼ばれ、丈夫で飼育しやすい種類です。

最近、人気のある小型のウサギは「ハウスラビット」と呼ばれています。

＜ウサギは教育に適した動物＞

普通のウサギは、子供にも楽に持つことができ、抱っこをしても危害を加えることはありません。

大きな声で鳴くことがないので、近所に迷惑をかけることはありません。

少数であれば、簡単な施設、人工飼料、野菜で飼えます。

「ワシントン条約」の保護鳥獣ではなく、「動物の保護及び管理に関する法律」の指定動物です。

＜世話の仕方＞

ウサギはよく人に馴れます。馴れていても外に連れ出す時はリードをしたほうがいいでしょう。

ウサギは、あまり水を飲まない動物です。野菜などの生ま物を与えていれば、餌から必要な水分を吸収することができますが、夏季は水を与える必要があります。人工飼料(ウサギ用)を中心の飼育をする場合は、水は必ず与えてください。ウサギは暑さと湿気に弱い動物なので、室内飼育の場合 夏季、閉めきった室内、陽の当たる場所に出すとき気をつけましょう。冬季の寒さは、室内飼育の場合心配することはないでしょう。

＜ケージ＞

気通性のよい カゴ状のケージが適しています。大きさは50～60cm四方で一匹もしくはペアが目安です。ペアの仲がよくない時や繁殖時はメスを個別に飼育しなければならないので、複数飼育をする場合は、予備のケージを用意しておきましょう。脱走することも考えられますので、出入口はしっかりと止め金をつけましょう。床面にワラなど敷いておくのもよいのですが、不潔になったり、湿ったりしないように注意が必要です。

＜餌・水＞

ウサギは草食性動物なので、野菜・人工飼料・水を与えます。野菜だけで飼育をする場合は、食物のバランスに配慮が必要です。タマネギ・ナガネギ・ニンニク・ニラ等は与えてはいけません。水は、毎日 新しくきれいな水に換えてあげてください。

＜その他の注意＞

ウサギは2種類の糞をします。普通、目にする糞は黒く コロコロしています。他に柔らかい糞をしますが、目につきません。なぜならば、この糞はウサギ自身が食べてしまいます。これは、餌を食べて消化吸収しきれなかった栄養をもう一度食吸収するためで、ウサギの習性です。汚いと思われがちですが、これをしないと栄養が不足して死んでしまいます。又、精神的な問題で、糞を食べてしまうものがありますが、問題はありません。

(林 まさ代 Masayo Hayashi)

動物公園の動物…⑩

Animals in the Chiba Zoological Park

ハシビロコウ

今回紹介するハシビロコウは、鳥類・水系ゾーンの中央に新築された獣舎に住み、『動かない鳥』として知られ、奇妙な顔つきで来園者の人気者となっています。

ハシビロコウは、その名前のとおりクチバシの幅がひろいコウノトリの仲間で、英名をクチバシの形がオランダの木靴に似ているところからShoebillといいます。

動物分類学的には、コウノトリ目ハシビロコウ科に属し、他になかまがない珍しい鳥で、アフリカ中央部のナイル川上流や湖沼地帯などヒトがあまり近づかない場所で、単独（まれにつがい）で生活しています。野生では1万羽程度しか生息していないといわれています。



この鳥は、立ちあがると約1.2m程の高さがあり、全身灰色で後頭部にちょっとおしゃれな冠羽を持っています。

外見上とてもユニークに見える特徴は、生息地での生活によく適応しています。

大きなクチバシは、縁が鋭く先に爪がありエサとなるナマズや肺魚をしっかりとつかまえるのに役立ちます。そして、体の割りに長い脚の趾は湿地の浮草の上を歩くときに大きく広げ水の中に沈むことを減らし歩きやすくしています。

また、両眼視力（目が顔の正面にある）を持っているため、獲物の位置を正確につかみます。

野生では、水辺に長時間じっと立ってエサとなる魚がくるのを待ち、近づいた魚を大きなクチバシでつかまえます。その動きは普段のゆっくりとした動作からは想像もできないほどすばやく、また正確です。新獣舎では、室内もみられるようになっているので、放飼場でどこかヒトを思わせるようなユーモラスな顔つきをじっくりと観察したあと、室内でのエサを取るときの俊敏な動きを比較観察してみてもいいかもしれません。

この鳥は、頭がよく飼育係や見慣れたヒトを見つけるとクチバシを「カタ、カタ」と鳴らしあいさつをします。（来園者にするときもあり）また、自分で室内と放飼場との出入りをきちんとします。

国内では、当園の3羽と他に1羽が飼育されているだけで、繁殖したことがありませんので、ぜひ挑戦したいと思います。

（伴野 修一 Shuichi Banno）

動物公園の植物…⑨

The plants in the Chiba Zoological Park

エゴノキ

エゴノキは、エゴノキ科エゴノキ属の落葉高木です。

雑木林などによく生えていて、高さ7～15mになります。

幹は、あまり太くなく根もとから株立ち状になりやすく目立つ樹形になります。

樹肌は、黒褐色ですべすべしていて、2年目の枝の表皮は糸状にはがれます。

葉は、互生し、長さ4.5～8cmの長楕円形で先端は鋭くとかって、基部はくさび形、ふちは細かい鋸葉があります。

分布は、ほぼ日本全域、中国、フィリピン北部となっています。

5～6月頃、今年のびた短い枝の先に、1～4個のまっ白で清楚な、鈴のような花をたらしめて咲かせ、心地よい初夏の涼風にゆれながら、しかも次々と枝先から地面に花がらを散らします。やがて長さ1cmくらいの卵球形で灰褐色の実をつけ種子は実が縦に裂けて落ちます。



日本全国には、いろいろな呼び方があり、広く親しまれているようです。雑木林の木々等とともに木炭に、材がかたいので和傘のロクロ（傘の中央の部分で骨を束ねているところ）にも使われたそうで、ロクロギという名で呼ぶ地方もあるようです。

樹肌が美しいので茶室などの床柱に、枝先の細い部分は浅草海苔をつくるための「のりそだ」にも使われたそうです。

また、果皮にはエゴサポニンが含まれていて、麻酔効果があるため、新鮮な果実を洗濯石けんのかわりにしたり、その昔、男の子はすりつぶして汁を川に流して魚捕りをし、女の子はその種子でお手玉をつくったそうです。

少し前まで雑木林の木々は、私たちの生活に必要な資源を提供してくれたり、子供たちの木登りや、アケビ採りなどの場として関わってきたが、残念ながら昨今では、開発などにより周辺の自然は急激に減ってきています。

園内には、樹林地や畑であった場所が、所々に残っています。動物たちと共に、公園での安らぎを提供してくれる、エゴノキを見つけてみて下さい。

（齊藤 哲朗 Teturo Saito）

動物公園日誌から

From Zoological Park Diary

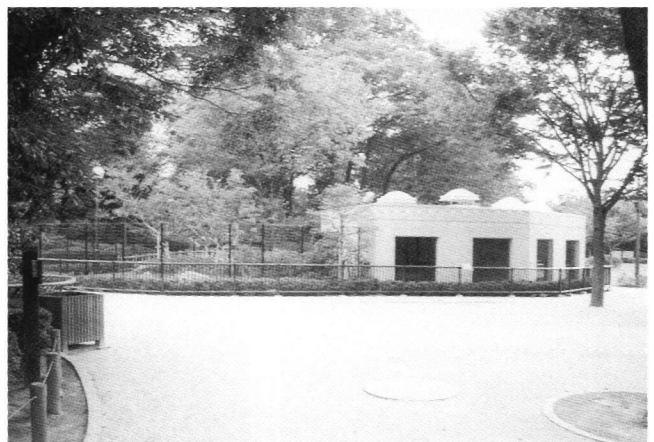
'98年2月1日～'98年7月31日

- 2月1日 トナカイ（雄）、右角落角（2.36kg）
中学生職場訪問あり（磯辺第二中学校）
- 2月4日 昨年末生れのセーブルアンテロープの仔、角が生えてくる
- 2月5日 上野動物園から譲受けのホオカザリヅルの卵、本日孵化する
- 2月7日 全身腫瘍のハワイガン、本格治療を試みる為、入院とする
- 2月8日 中学生職場訪問あり（椿森中学校）
- 2月10日 ピグミーマーマモセット（1頭）繁殖
- 2月16日 ホンドザル（雌サフラン）死亡
- 2月17日 昨日からの降雪のため、動物は早めに収容する
- 2月19日 オオサマペンギン（雄1、雌1）、南紀白浜アドベンチャーワールドより受贈
- 2月23日 アシカ池の新しいろ過機、運転開始
- 2月24日 中学生職場訪問あり（高州第一中学校）
- 2月25日 ショウガラゴ（雄2頭）、動物交換で搬出
- 2月26日 クロザル（1頭）繁殖
- 2月27日 ミケリス（雄1頭）死亡



- 2月27日 アミメキリン（雌仔1頭）、動物交換で搬出
- 2月28日 セキショクヤケイ（雄1、雌2）、多摩動物公園より受贈
- 2月29日 中学生職場訪問あり（花見川第一中学校）
- 3月4日 ヤツガシラ（3羽）自然孵化
- 3月5日 ハートマンヤマシマウマ等、4種9点動物交換で搬出
- 3月9日 アニマルスクール（動物の園の話）開催
ピグミーマーマモセット等7種36点、動物交換で搬出
- 3月12日 アカハナグマ、交尾確認
- 3月15日 ワオキツネザル（雌1頭）死亡
- 3月20日 「クイズラリー」開催
- 3月21日 アカカンガルー（雌ラン）死亡
- 3月24日 「ワンポイントウォッチング」開催（カピバラ）
- 3月26日 セーブルアンテロープ等10種19点、動物交換で搬出

- 3月28日 ムネアカタマリン（雄1、雌1）、長崎県パーキングガーデンへ寄贈
- 3月29日 ベニコンゴウインコ（雌1）、動物交換で新着
- 3月31日 カナダカワウソ（雄1）死亡
園内のサクラ、開花始まる
- 4月1日 3月中旬頃より営巢中のイスワシ、2卵産卵しているのを確認
- 4月2日 フンボルトペンギン、1羽自然孵化
ヤツガシラ、2羽自然孵化
- 4月3日 カリフォルニアアシカ（雌1）、動物交換で新着
- 4月5日 2月末に産卵したシロエリハゲワシの卵は中止卵であった
- 4月8日 冬季、屋内で飼育していたアフリカハゲコウ、外気温が上って来たため屋外放飼場に戻す
- 4月15日 ホオカザリヅルの雛（2月5日孵化）、死亡
- 4月20日 チンパンジー（雌ペンタ）、急性心不全で死亡
- 4月22日 2月に人工哺乳としたシロガオマーマモセット（仔）
本日より離乳食のみ与える
電気系統点検のため、午前中全園停電
- 4月28日 ゲルディモンキー（1頭）繁殖
「ワンポイントウォッチング」開催（水禽池）
- 5月3日 アビシニアコロボス（1頭）繁殖



- 5月3日 ハシビロコウ、新設展示場に移動
- 5月10日 ハイイロコクジャク（雄1）、埼玉より受贈
- 5月11日 羊の毛刈りと紡毛教室開催
- 5月12日 「愛鳥週間記念講演会」開催



- 5月15日 アカハナグマ、（2頭）繁殖

- 5月16日 抱卵中のイヌワシの卵、2卵のうち1卵は割れてしまい、残りの1卵も検卵の結果無精卵であった
- 5月18日 マンドリル出産するが、今回も仔は残念ながら死亡していた
カピバラ、(1頭)繁殖
- 5月19日 クロヅル、(1羽)自然孵化
「ゆかいな森の音楽会」開催
- 5月24日 ルリコンゴウインコ(雌1羽)、動物交換で新着
- 5月25日 トナカイ(雄・ギン)、角ぼぼはえそろう
- 5月26日 「ワンポイントウォッチング」開催(アカハナグマ)
- 5月27日 子ども動物園のウシ、動物交換で仔ウシに入れ替える。(ホルスタイン種、ガンジー種)
ヘビクイワシ、産卵する。
- 5月28日 シロミミキジ(雄1、雌1)、野毛山動物園より受贈
- 5月30日 カリフォルニアアシカ(雄1頭)、動物交換で搬出
- 6月2日 ヘビクイワシ、産卵3つ目確認
- 6月3日 ニシローランドゴリラ、(雄ゴロ)と(雌モモコ)シュート内で見合をさせる
- 6月4日 イワトビペンギン1羽人工孵化する(孵化日数、35日)
- 6月5日 カリフォルニアアシカ(雌1頭)繁殖
- 6月7日 オウギアイサの人工孵化したヒナ5羽と雌親をトキ舎予備室で一緒にする(親はヒナの面倒を見ている様子。)
- 6月8日 「アニマルスクール」開催
- 6月15日 カリフォルニアアシカ(雄1頭)繁殖。母親(ミュウ)は、今回が初産である
- 6月17日 屋外放飼場で、ニシローランドゴリラの(雄ゴロ)と(雌モモコ)のペアリングを行なう。初日のためか、双方共無関心を装う。しかし(雌モモコ)は、夕方殆んど採食せず



ペアリングの様子を見まもる職員

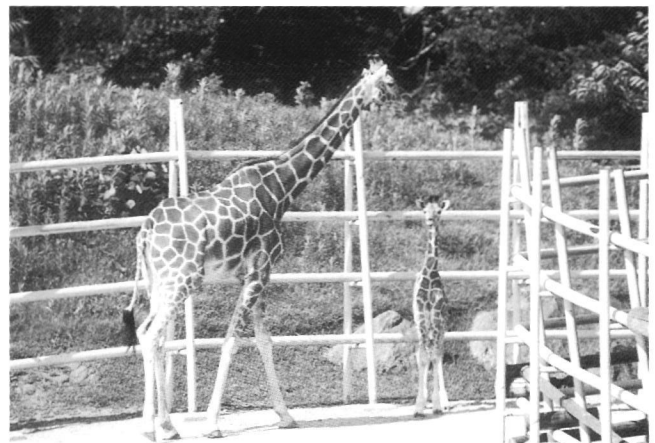
- 6月18日 外気温が上がって来たため、オオサマペンギン7羽冷房室へ移動させる
- 6月19日 ニシローランドゴリラのペアリング、第3日目、ゴロがモモコを押さえつけ数ヶ所かむ。夕方モモコは室内に入らず屋外へ出したままとする
ホオカザリヅル(雌1羽)、動物交換で新着
- 6月20日 夜間、水禽池に猫が侵入したようで、カモ類6羽死

亡する

- 6月21日 ボト(雄1頭)死亡
- 6月23日 「ワンポイントウォッチング」開催(類人猿)
ハシビロガモ(1羽)人口孵化
- 6月28日 アカハナグマの雌親と仔2頭、午後から放飼場に出す
- 7月1日 ヤク(雄ジン)、麻酔下で眼の腫瘍治療中に死亡
- 7月5日 アフリカヘラサギ3羽、検疫明けでトキ舎へ移動



- 7月6日 パンケーキリクガメ24頭、緊急保護
- 7月11日 ニシローランドゴリラのペアリング開始してから約20日間経過し、本日は(雄ゴロ)が(雌モモコ)を背後から押え込み、肩口を噛む。モモコは相変らず屋内では採食せず



- 7月12日 アミメキリン、(雄1頭)繁殖。(母親アジム)
ニシローランドゴリラのペアリングは、本日までとし、しばらくの間休止とする
- 7月24日 第12回サマースクール開催(26日まで)
- 7月26日 今年人工孵化したダチョウのヒナは計5羽で、本日本体重測定を行う(順調に成育中)
- 7月28日 今年自然孵化したツクシガモのヒナ10羽、順調に成育中。馴化施設の広い部屋へ移動

飼育よもやま話

Animal Episode

親ばなれ？子ばなれ？

オランウータンとは、マレー語で「森の人」という意味で、1頭もしくは、親子で熱帯雨林の森の中で生活をし、子供は、5才前後で親ばなれし単独で生活を始めます。

さて、以上の事をふまえて当園のオランウータンは現在、メスのキャンディ（18才）と、その娘のナナ（6才）を飼育しています。野生ではナナはもう親ばなれしなければならない時期を過ぎている事になります。動物公園では、施設上2頭を分けるスペースがないと言う事もありますが、それ以上にキャンディの方が、どうやら子ばなれできない様子なのです。

それは朝オランウータンを放飼場に出す所から見られます。放飼場に餌をつけ、屋内展示室（夜間を過ごす寝室）から放飼場に出る扉を開けます。するとキャンディはかならず、放飼場に何か危険な物はないか、扉から顔だけを出して外をうかがい、安心するとナナの手を引き外へ出て行きます。キャンディは、けっして一人で外に出て行く事はありません。また夕方屋内展示室に入って来る時も朝と同じ事が見られます。キャンディはナナが生れてから6年間毎日ナナの手を引き守りながら移動をくりかえしてきたのです。またナナは遊びざかりのヤンチャ娘



ですから、日中放飼場の中を元気に遊び回ります。キャンディは、そんな時はかならずナナが見える所に移動していないと安心できない様子で、ナナが動けばキャンディが動くという事がナナが昼寝していないかぎり1日じゅう見られます。

そういえば以前こんな事もありました。ナナが擬木の上にいる時、原因は省きますがナナが悲鳴をあげました。するとすぐにキャンディがナナの所へ飛んできて、ナナを抱き締めるという光景を目にしたことがあります。それはまるで人間の母親が「もう安心だからね」と子供をあやすのと同じ様に思えたものです。子を思う母親の心というのは、人間も動物もあまり変わるものではないようです。ともかく、親ばなれのできないヤンチャなナナと子ばなれのできない心配性のキャンディの苦労は、まだしばらくは続くことでしょう。

（中村 智行 Tomoyuki Nakamura）

イチタロウの散歩

子ども動物園の牧場では、お客さんにもっとウマに慣れ親しんでもらおうと、シェトランドポニーのイチタロウを引き連れて園内を散歩することをはじめましたので、その様子やイチタロウのことを話したいと思います。

散歩のパートナーであるシェトランドポニーのイチタロウは、15才の牡馬で体は白地に茶色のブチ毛で覆われています。体高（肩の部分の高さ）90cm、体重 190kgのちょっと太りぎみのイチタロウは、牧場一の元気で、一頭で走り回って他のウマに迷惑をかけています。性格はとてもひとなつっこく、言う事もよく聞きますが、食いしん坊なのが欠点です。



イチタロウは散歩が好きなようで、引きづなをもって呼ぶとすぐに柵の出入り口の方によってきます。散歩は、子ども動物園を一周して、レッサーパンダの前を通り、メインモールの噴水の前を通り、子ども動物園に帰るというコースです。ゆっくり歩いて10分くらいですが、5、6回止まってお客さんに触ってもらったり、話しをしたりしていると30分以上かかることもあります。もっと長い時間やりたいのですが、イチタロウが糞やおしっこをすると困るのでこれくらいの時間でやめます。

（何度かやられて慌てた事があります。）イチタロウは今では散歩を楽しんでいるように自分から先へ行こうとしたり、お客さんが触ってもじっとしています。けれど、最初の頃のイチタロウはいろいろなものに驚いていました。たとえば、ペンギンが飛び込む音、噴水、子どもの泣き声などです。彼は、驚くと目が大きくなり、小走りに走ろうとします。こんな様子ですからなかなかじっとしてお客さん達に触ってもらえませんでした。が、だんだんと慣れていき、4月にはお客さんが多くても大丈夫になり、落ち着いて散歩するようになりました。お客さんの反応も上々で、行く先々でたくさん集まってくれます。

このイチタロウの散歩は、現在月に3～5回行っていますが、時間の許す限り回数を増やしていきたいと思っています。みなさんも散歩しているイチタロウをみかけたら、声を掛けてぜひ触れて見て下さい。

（濱田 昌平 Masahira Hamada）

健康管理センターから

From the Animal Health Center

私の担当はね……

あっ、どうもコンチワ！えっ獣医さん？獣医さんはみんな出払っちゃってますね。

私？私は違いますよ。私は只の飼育係ですよ。健康管理センターにはちょっと調べもので来てるだけです。いつもは管理事務所にいますよ。

担当？私の担当はね、動物台帳とか、動物の異動の手続きとか、物品の購入とか……えっ分かりづらい？そうね分かりやすく言うとな、

その1「台帳事務及び員数確認」

私 えーっ、それでは出席をとりまーす。

アミメキリンのヤエちゃん。

ゴリラのモンタくん

ゾウのスラタラくん

動 先生、スラタラくんは気分が悪いので保健

室に行きました

私 一応出席ですね

（毎月末締めて全園の飼育動物の数を全てチェックします。繁殖・死亡など増減が生じた場合は個体毎に記録して行きます。2ページ目にある動物飼育数はこうして作られます。）

その2「動物異動手続き」

動 すみませんワタボウシハンシェですが、今度○×動物園に引っ越すことになりましたので切符の手配をお願いします。

私 はい、タバコは吸いますか？

動 禁煙席をお願いします。

私 あなたはワシントン条約の対象になりますか？

動 たしか！表だったと思います。

私 それでは環境庁への手続きもありますので

この書類に必要事項記入してくださいね。印

鑑と顔写真も必要ですからね

はい、次の方どうぞ。

（他の動物園と共同繁殖を目的に動物の交換を行っています。その搬送の手配や法令などで規制のある種類に関しては、その法令手続きを行います。法令には種の保存法や文化財保護法などがあり、審査終了までには最短で1ヵ月を要します。）

それからね、物品関係はね、掃除道具とか材木とかね……

あっ獣医さん帰ってきたよ。えっ、もういいの？獣医さんに用事は？動物公園ニュースの取材？「健康管理センターから」の？だから、私はここの住人じゃないって、…ちょっと、ちょっと。あーあ帰っちゃったよ。

まっいいか。事務所に帰る。

（清田 義昭 Yoshiaki Kiyota）

平成8年度後期行事予定表

行 事 名	期 日	内 容
写真コンクール	募集10月10日まで 展示11月1日～30日	動物公園内での、動植物とのふれあいを題材とした写真を募集します
折り紙教室	10月13日	折り紙でいろいろな動物を折ります。
アニマルスクール	10月26日 3月8日	標本等を使用し、動物の生態を解り易く紹介し、動物に対する疑問に答えます
動物を計る会	10月27日	動物を通じて、計ること、「計量」に対する意識を高めて頂くために開催します
Zooクイズラリー	11月3日 3月20日	動物のクイズを通じて、動物の正しい知識を学んでいただくために実施します
クリスマス音楽会	12月8日	動物やクリスマスにちなんだ曲の演奏をおこないます。
新春特別行事	1月5日	新春にちなんだ催物を開催します。
バードウォッチング	1月12日	園内の太池周辺に見られる野鳥の観察を行います。
ワンポイントウォッチング	10月20日 11月24日 3月23日	毎回、ある動物にスポットをあてて、飼育担当者から直接話しを聞きます
動物映画会	日曜日・祝日・春、夏、冬休み	動物をよりよく知っていただくために上映します。
ズーシネマ	イベントのない第2・4土曜日	学校が休みになる土曜日に子供達を対象に映画会を開催します



シロミミキジ